

【国語】 < 小学校 第6学年 >

1 結果のポイント

「話すこと・聞くこと」について、話し手が伝えようとしている内容の中心を考えながら聞く力をみる問題など、ほとんどの問題の正答率が90%を上回っている。

「書くこと」について、自分の考えを分かりやすく伝えるために立場や理由をはっきりさせて決められた字数で書く力をみる問題や、グラフをもとにして書く必要のある事柄を選び、自分の考えとその理由を区別して決められた字数で書く力をみる問題、また、目的や様式に応じて必要な事柄を選んで文章を書き換える力をみる問題では、正答率が60%を下回っている。

「読むこと」について、登場人物の気持ちを想像しながら読む力をみる問題では、正答率が90%を上回っている。

文章の構成を考えながら読む力や、文章の表現の特徴に目を向けて読む力をみる問題では、正答率が60%を下回っている。

「言語事項」について、指示語の指し示す内容をとらえる力や、漢字を正しく読む力、漢字辞典の調べ方をみる問題では、正答率が80%を上回っている。

2 結果の分析

(1) 話し合いの進め方の工夫を考えながら聞く力をみる問題の例(「聞く能力」)

< 問題 > の四

この話し合いで、司会者はどのような進め方の工夫をしていますか。次のア～エの中から一つ選び、その記号をの中に書きましょう。

ア 学級全員の意見を出し合おうと、立場に関係なく、すわっている順に指名している。

イ 意見をはっきりさせようと、質問がないか聞き手にたずねながら話し合いを進めている。

ウ 田中さんの意見に賛成という結論が出るように、司会者の意見も入れながら進めている。

エ 田中さんの意見に反対か賛成かが分かるように、発言を分けて話し合いを進めている。

< 結果 > 正答率 90.6% (正答...エ)

< 分析 >

この設問は、司会者が発言を分けて話し合いを進めている工夫を聞き取る力をみる問題である。無回答もほとんどなく、話し合いの進め方の工夫を聞き取る力が付いている。児童は、司会者の「みなさんはどう思いましたか。反対の人から発表してください。」という呼びかけに気を付けて聞き取っている。この結果から、今後、いろいろな場面で司会をする体験を位置付け、司会の役割を理解するとともに、話し合いの進め方の工夫を考えるよう計画的な指導を工夫することが大切である。

(2) 目的や様式に応じて、必要な事柄を選んで、文章を書き換える力をみる問題の例(「書く能力」)

< 問題 >

西田小学校の六年生は、南風中学校の一年生を招待し、「一年生のみなさんに聞く会」を開いて、中学校での学習や生活について教えてもらうことにしました。そこで、南風中学校の一年生に来てもらうため、会の【計画表】をもとに、西田小学校の六年生の代表が【お願いの手紙】を書くことにしました。次の文章をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【お願いの手紙】の中の には、南風中学校一年生のみなさんに伝えておかなければならない内容が入ります。「この会は、」に続くように、計画表の中の言葉を使った文章を考え、次のげんこう用紙に二行から三行で書きましょう。

【計画表】

| | |
|-----------------|----------------------------|
| 一年生のみなさんに聞く会の計画 | |
| 目的 | 中学校の学習や部活動、行事などについて教えていただく |
| 月 日 | 二月二十八日 |
| 時 間 | 午後三時から四時まで |
| 場 所 | 西田小学校一階の児童集会室 |

<結果> 正答率 55.0% (正答...略)

<分析>

この設問は、手紙という様式に応じて、必要な事柄を選んで文章に書き換える力をみる問題である。正答率は、55.0%であり課題がある。誤答としては、【計画表】の中の言葉に助詞を加えて文章にできなかったり、文と文の続き方を考えられなかったりするものなどが多かった。その要因として、必要な言葉を選択するとともに、伝えたい順序を考えて文や文章を構成し、筋道立てて書くことができないことが考えられる。この結果から、目的や意図、必要性や効果などを考えながら、ある程度文章全体の構成や記述を念頭に置き、書く事柄を適切に取材・選択して整理する指導が必要である。

(3) 物語の中の優れた表現に目を向けて読む力をみる問題の例(「読む能力」)

<問題> 四の四

この物語の表現の特徴を最もよく表しているものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

- ア 様子が目に浮かぶような色を表す言葉を多く使って書いている。
- イ さわがしさが伝わるような音を表す言葉を多く使って書いている。
- ウ 登場人物の出身地がわかるような方言を多く使って書いている。
- エ 読み手を引きこむような語りかける言葉を多く使って書いている。

<結果> 正答率 54.2% (正答...ア)

<分析>

この設問は、物語の中の優れた表現に着目して読む力をみる問題である。正答率は、60%を下回っている。無回答は1.4%であるが、正答率が低いことから、表現のよさや効果を感じ取って読む力が不十分であると考えられる。また、四の二の「文章の構成を考えながら読む」問題や、四の五の「目的に応じて必要な図書資料を選ぶ問題」の正答率も60%を下回っている。これらの結果から、文章構成や語句の使い方、文末表現等を手がかりに表現の工夫について吟味する指導の充実を図る必要がある。さらに、学校図書館の活用とかがかわらせて、読書に対する関心を高めるよう意図的な指導が求められる。

(4) 調べたい事柄について、漢字辞典を使い効率よく調べる力をみる問題の例

(「言語に関する知識・理解・技能」)

<問題> 八

漢字辞典で「尊」の漢字を調べようと思いますが、読み方も部首も分かりません。短い時間で正確に調べるための方法として、最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

- ア 初めのページから順にめくって、1字1字をよく確かめながら「尊」の漢字をさがす。
- イ 総画さくいんのページを見て、十二画の漢字の中から「尊」の漢字をさがす。
- ウ 部首さくいんのページを見て、当てはまりそうな部首から「尊」の漢字をさがす。
- エ 音訓さくいんのページを見て、「ア・あ」から順に「尊」の漢字をさがす。

<結果> 正答率 82.1% (正答...イ)

<分析>

この設問は、漢字辞典を効果的に使い力をみる問題である。正答率は、80%を超えており、全国学力・学習状況調査のA問題「言語事項：漢字辞典を効率よく利用する」とほぼ同様の結果がみられた。このことから、漢字辞典の調べ方はよく身に付いていると言える。誤答の多くは、ウの部首索引のページを見て、当てはまりそうな部首から調べようとするものであった。この結果から、国語の学習を始め、他の教科等の調べ学習や日常生活の中でも、漢字辞典や国語辞典、百科事典等、多様な辞典類を積極的に活用できるようにする指導の工夫が必要である。

3 分析を踏まえた指導の改善

(1) 指導計画の工夫改善

さまざまな目的や様式に応じて書く活動の位置付けを！

- ・「書くこと」では、課題について、目的や書く様式等を理解し、筋道立てて書く力を高める必要がある。そのために、全国学力・学習状況調査の結果分析でも示された「目的や様式に応じて書く指導」及び「端的にまとめる指導」を参考にし、文章全体を見通して書く内容を整理したり、

目的に応じた効果的な文章を考えたりすることに指導の重点を置いて指導計画を改善する必要がある。また、言語事項を位置付けた言葉の選択や、文の組立ての効果を考えて書く力が育つよう指導計画の改善が必要である。

優れた表現を読み味わう指導計画の充実を！

- ・「読むこと」では、人物の心情を、優れた表現や叙述の特徴を理解しながら読む力を高める必要がある。そのために、全国学力・学習状況調査の結果分析でも示された「人物像を的確にとらえて読む指導」を参考にし、さまざまな文章のもつ表現や文体の特徴に気を付けて読むことに重点を置いた活動を指導計画に位置付けるよう工夫改善が必要である。さらに、単元指導計画に読書発表会や本を読んだの紹介の文を書く活動を位置付けるなど、学校図書館を活用した活動を意図的に設定していくことが必要である。

(2) 指導方法の工夫改善

話の構成の工夫を聞き取る活動や、司会進行の仕方の指導の充実を！

- ・「話すこと・聞くこと」では、相手や目的意識を明らかにするとともに、資料を提示しながら、説明や報告をする指導の充実が求められる。また、相手の意図を考えながら、「伝えたいことは何か」「一緒に考えたいことは何か」等、聞く窓をもつことで、話の構成の工夫を聞き取ることが大切である。そのために、全国学力・学習状況調査の結果分析でも示された「話し方、聞き方について、互いに評価する活動を位置付ける」及び「司会の役割を理解し、学校における様々な場面で司会を計画的に体験できる」指導が必要である。

自分の考えを効果的に書く指導の充実を！

- ・「書くこと」では、書く相手や目的を意識するとともに、礼状や依頼状等さまざまな様式について書く体験を重ねることが必要である。自分の考えを効果的に書くために、例えば、同じ内容を箇条書きしたものとそうでないものを比べて読んだり、時間や事柄の順序を変えたりするなど、構成や表現の工夫の効果を考えることが大切である。また、調べたことを引用したり図やグラフ等を取り入れて、自分の考えがより伝わるように書いたりする指導の工夫が求められる。

表現の特徴に注意して読む指導の充実を！

- ・「読むこと」では、主人公の人物像について、心情や情景描写との関わりを読み味わえるような指導の工夫が必要である。そのために、全国学力・学習状況調査の結果分析でも示された「文及び文章の構成を理解する指導」を参考にし、さらに、単元の中で、学校図書館の活用を図り、同一作者の作品を比べて読んだり、同一主題の他の作品を読んだりすることを通して、表現の特徴に注意し、優れた叙述を味わいながら読む学習ができるよう、指導の改善が求められる。

辞典を使って読んだり、書いたりする習慣が身に付く指導の充実を！

- ・「言語事項」では、漢字を正しい筆順で書くことを重視するとともに、漢字のもつ意味や由来など、漢字を理解し、興味・関心が高まるような指導の工夫が求められる。また、あらゆる読む活動や書く活動において、いつも辞典を手元に置き、必要に応じて活用し、効率よく調べることができる習慣を養うことが重要である。さらに、家庭学習等で目的をもって反復練習を行ったり、書く活動の中で学習した漢字を積極的に使ったりする指導も大切である。

(3) 学習環境の工夫、学習集団の育成等

学校図書館の活用や公立図書館と連携した指導の充実を！

- ・各領域で、図鑑や事典を使って必要な情報を調べるなど、意図的、計画的に学校図書館を活用する指導の充実が必要である。また、レファレンスを充実するとともに、活用しやすい学校図書館の環境づくりが求められる。そのために、公立図書館と連携するなどして、学習内容に応じて、複数の本や図書資料を選んで比べて読み進めることができるようなコーナーを設置する工夫が大切である。

自主的に取り組む家庭学習の定着を図る指導の充実を！

- ・学習した漢字の読み書き練習に目的をもって取り組んだり、優れた文章等を音読したり、同一作家の作品を読み比べたりするなど、家庭学習においても、計画的に取り組む習慣を身に付ける必要がある。さらに、学校においても、家庭学習の内容について評価したり、その子のがんばりや伸びを認めたりするなど、成就感や達成感を味わえるように継続的に指導をすることが大切である。

指導改善事例は、「岐阜県総合教育センターHP 教科教育等 学力向上P」授業改善（H16～18）及び授業改善推進プラン（H19～）」を参照する。<http://www.gifu-net.ed.jp/gec/>